



消防大学校だより



違反是正特別講習(第1回)

消防大学校では、平成24年に福山市で発生したホテル火災を踏まえ、平成25年度に違反是正特別講習を新設し、平成25年12月16日から12月20日までの5日間(教育日数：5日間、教育訓練時間：26時間)にわたり実施し、全国34道府県から78名の学生が受講しました。

本講習は、予防行政(業務)の強化・徹底を期するために、消防本部においての査察、違反処理業務に携わる消防司令補以上の階級にある者等に対し、その業務に必要な実務的な知識及び能力を習得させることを目的としています。

本講習のカリキュラムは、上記目的に照らし、予防実務に即実践でき、かつ、実効を挙げられるよう、当該業務に必要とされる知見、技術を網羅し、次の5項目に分け授業を企画しました。

1 査察・違反処理の現状と課題、今後の国の動きについて

消防庁予防課違反処理対策官からの講義 2時限

2 査察計画策定時の留意点(危険性の優先順位の考え方)、査察のポイント

横浜市消防局講師からの講義 3時限

3 違反処理事務の一連の流れ、政令市違反処理事例の紹介と解説

東京消防庁及び大阪市消防局講師からの講義 4時限

4 違反処理実習

本校施設を用いた法5条、5条の3、8条及び17条関係違反に対する実習 10時限

5 質疑検討、事例発表

入校前に事前提出させた「違反処理に関する質疑」及び「違反処理で苦慮している案件」に関する意見・情報交換及び発表等 7時限

このように、実習を積極的に取り入れた実践的な内容とし、違反是正・処理の最前線で活動する担当者としての資質の向上も目的として、時代の要求に即した教育訓練を実施しています。

本講習を終えた学生からは、「違反処理の重要性について、講習を受講しているうちに自分でも実施できる、しなければならないと痛感した。」「違反処理に対する今までの認識の甘さを痛感するとともに、自分の意識改革ができたことがとてもよかった。」等の意見が多くなされ、単に知識・技術の付与に留まらず、教育の真の目的である「気付き、気付かせる。」という点からも、多くの受講生に対して、改めて違反是正の必要性とその推進を自らが先鞭をつけて行き、そして「自分たちの代で覚知した違反を次代に申し送ってはならない。」ことの

啓発がなされたものと思われまます。

また、寮生活では、短期間ではありましたが、各学生が寝食を共にし、78名が相互に友好を深めるとともに、予防行政に携わる者同士としての絆を深め、有益なネットワークづくりができました。

今後は、消防大学校で得た知識、技術を十分に発揮して、査察、違反是正・処理業務の一層の推進を図り、地域の安全安心の実現のため、「安全」だから「安心」でできるのだ。そして、その実現に最も寄与しているのは、われわれ予防担当者である。」との自負のもと、更なる活躍が期待されます。



受講風景



質疑検討会



違反処理実習

上級幹部科(第77期)

上級幹部科(第77期)は、1月15日から1月31日までの17日間の日程で消防長、消防署長を中心とした47名の学生を対象に実施しました。

上級幹部としての資質の向上を目的に消防に関する高度な知識及び技術を総合的に修得しました。

座学では、消防庁長官の講話、全国消防長会会長による組織管理者としての役割等についての講話、消防庁幹部による消防行政の現状と課題や最新の消防行政の動向に関する講義を通じて、消防組織の上級幹部として職責の重さを再認識しました。

これらのカリキュラムに加え、危機管理対応、教育技法、身体管理、惨事ストレス対策等組織運営・管理にあたる上での必要な知識を深めるとともに、危機管理広報では各想定シミュレーションの模擬記者会見の体験を通じた報道対応手法等を学び、さらには状況予測型図上訓練、指揮訓練等を体験しました。

特に指揮訓練においては、今後発生が危惧されるといわれる首都直下地震を想定した指揮シミュレーションを体験し、大規模災害時の各都道府県及び被災地消防本部並びに緊急消防援助隊の役割・動きについての各運用要領を再確認しました。

一方、課題研究では、事前に付与した3つのテーマについて各班で熱心に討議し、代表者が発表することで各消防本部が直面している課題について多くの意見が交わされました。

今回の研修を受講して、学生からは「著名な講師陣から貴重な講義を聴講でき、大変参考になった。また、同期として全国の消防関係者と膝を交え肩を寄せ合う関係ができたことも、今後の消防人生において大いなる力と感じた。」「全国の消防幹部職員と交流を持つことができ、有意義な時間を過ごせ、今後の消防人生に非常に役立つ研修であった。」「講義での知識向上も大変有意義でしたが、各消防本部の方と情報交換ができ、今後の業務に活かしていきたい。」等の感想・意見が寄せられました。

消防大学校で修得した幅広く高度な知識と磨きをかけた判断力に加え、全国の仲間から得た情報を活かし、上級の消防幹部として全国各地域において、今後さらなる消防力の充実強化のため活躍されることが期待されます。



通常点検



消防庁危機管理センターでの講義



危機管理広報での模擬記者会見の様子

問い合わせ先

消防庁消防大学校 教務部
TEL: 0422-46-1712